

稲沢市第1回環境審議会 会議録

【日時】 令和5年7月4日(火) 午後14時00分～午後15時00分

【場所】 稲沢市環境センター 事務棟2階 大会議室

【出席者】

稲沢市環境審議会委員(敬称略)

会長	成田 裕一	名古屋文理大学
副会長	澄川 隆昭	祖父江町商工会
委員	尾崎 敬代	愛知県尾張県民事務所
委員	田中 俊行	稲沢市小中学校校長会
委員	上田 能徳	稲沢商工会議所
委員	石川 愛	一般社団法人稲沢青年会議所
委員	角田 肇康	平和町商工会
委員	松原 良雄	稲沢ライオンズクラブ
委員	野田 珠生	NPO法人祖父江のホテルを守る会
委員	鈴木 裕	さわやか隊
委員	村瀬 政彦	市民公募
委員	荻山 はるみ	市民公募
【欠席者】	委員 栗木 雅洋	清須保健所
	委員 源治 保秀	豊田合成労働組合
	委員 牛嶋 みゆき	稲沢市連合婦人会

【事務局】

経済環境部長	足立 和繁
経済環境部次長兼環境保全課長	森田 徹
経済環境部 資源対策課長	大島 光之
経済環境部 環境施設課長	吉川 康彦
経済環境部 環境保全課 主幹	木全 泰司
経済環境部 環境保全課 主幹	樋田 祐二
経済環境部 環境保全課 主査	土屋 昭
経済環境部 環境保全課 主任	平嶋 克紀
株式会社エックス都市研究所 中部事務所長	嶋影 徹
	副主任研究員 中嶋 勇喜
	研究員 宮浦 尚也

【議事次第】

1 あいさつ

足立 和繁 経済環境部長

2 議題

- (1) 稲沢市地域再エネ導入戦略の策定報告について
- (2) 稲沢市地球温暖化対策実行計画<区域施策編>の策定について
・ゼロカーボンに係るアンケート調査

3 その他

閉会のあいさつ

森田 徹 経済環境部次長兼環境保全課長

【会議の概要】

1 あいさつ

・経済環境部長 あいさつ

稲沢市経済環境部長の足立と申します。会議の開催に当たりまして、私から一言御挨拶申し上げます。本日は御多忙のところ、お集りいただきありがとうございます。また、日頃は本市環境行政に格別の御理解・御協力を賜りまして、誠にありがとうございます。この場をお借りし、あらためて感謝を申し上げます。

さて、世界的な問題である地球温暖化対策について、本市におきましては、令和3年9月2日「ゼロカーボンシティ宣言」をし、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指し、昨年度審議会でも御議論いただきました、「稲沢市地域再エネ導入戦略」を令和5年3月に策定したところでございます。

また、今年度はこの「稲沢市地域再エネ導入戦略」に基づき、「稲沢市地球温暖化対策実行計画<区域施策編>」の策定を進めております。この<区域施策編>は、「稲沢市地域再エネ導入戦略」との整合性を取りながら、市民・事業者と市が一体となり、市域全体で2050年のゼロカーボンシティの達成に向け、まずは2030年度までに温室効果ガスの排出量を2013年度比で46%削減するための具体的な施策等を定めるものです。今後この審議会を通じ、委員の皆様方からも御意見等をいただきながら、目標の達成に向けて、この計画をまとめ上げて参りたいと考えておりますので、何卒、御理解、御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

本日は、忌憚のない御意見等をいただきますよう、重ねてお願い申し上げます、私からの御挨拶とさせていただきます。

・事務局 あいさつ

[事務局]

稲沢市環境審議会の設置について御説明させていただきます。稲沢市環境審議会委員は、稲沢市環境基本条例第23条の規定により選任させていただいております。審議会委員の定数は、20人以内となっており、現在、学識経験を有する者1人、関係行政機関の職員3人、事業者の代表者5人、その他市長が特に必要と認める者6人、合計15人で構成されており、会長は学識経験を有する成田裕一様をお願いしております。

任期は、令和4年4月1日から令和6年3月31日までの2年間とし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間となっております。

本年度2人の方が所属の変更等がありましたので、前任者の残任期間を後任者に引き継いでいただくこととなりました。ここで後任者のお2人の方を名簿順で御紹介させていただきますので、恐れ入りますが、一言ずつ御挨拶をよろしくお願い致します。

・審議会委員新任者 あいさつ

[事務局]

ありがとうございました。お2人の方には、大変遅くなりましたが、委嘱状を御用意させて

いただいております。本来であれば、市長より直接交付させていただくべきところではございますが、本日はお手元に置かせていただいておりますので、何卒御了承のほどよろしくお願い申し上げます。

また、愛知県清須保健所の栗木委員、豊田合成労働組合の源治委員、稲沢市連合婦人会の牛嶋委員におかれましては、所要のため、本日は御欠席です。

なお、本日の会議の出席者数は、委員数15人のうち12人が出席しており、稲沢市環境審議会規則第2条第3項に規定する「会議は委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。」を満たしていますので、本日の会議が成立していることを報告します。それでは始めに、成田会長様、御挨拶をお願いします。

・会長あいさつ

本会の会長の成田裕一でございます。会議に先立ちまして、一言ご挨拶を申し上げます。市内の環境を取り巻く問題については、市民一人ひとりが環境保全に配慮していくことが大切であり、環境基本計画にあるように、市民・事業者・市の三者が、協働していく必要があります。

今回は、昨年度策定した「稲沢市地域再エネ導入戦略」の策定報告や、今年度策定する「稲沢市地球温暖化対策実行計画〈区域施策編〉」について、事務局より説明があります。

また、環境保全活動の稲沢市の独自の取り組みとして、「稲沢市さわやか隊」が、地域で、散乱ごみの監視を行っておりますので、委員の皆様方もお知り合いの方に、是非ご周知いただければと思います。委員の皆様とともに、より良い稲沢市の環境づくりを目指し、協議していきたいと思っておりますので、御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

[事務局]

ありがとうございました。議題に入る前に資料の確認をお願いします。

・資料確認

[事務局]

それでは、これ以降の議事の進行は、稲沢市環境基本条例第25条第3項の規定により、会長のお取り回しをお願いします。

2 議事

[会 長]

それでは只今から、議事を進めます。皆様、御協力お願い申し上げます。

議題(1)「稲沢市地域再エネ導入戦略の策定報告」について、事務局から説明をお願いします。

[事務局]

資料に基づき、説明。

[会 長]

説明が以上で終わりました。何か御質問、御意見等はございませんか。

○質疑応答

委員からの質疑なし。

[会 長]

ではよろしければ次の議題に移らせて頂いてもよろしいでしょうか。

では議題（２）稲沢市地球温暖化対策実行計画＜区域施策編＞の策定について事務局から説明をお願いします。

[事務局]

資料に基づき、説明。

○質疑応答

[委 員] Q

市民向けと事業者向けのアンケートで、6 ページに「使っていない家電をこまめに消す」という項目がありますが、例えばエアコンはこまめに消すとかえって電気が余分にかかるときいています。こちらの調査期間が夏の予定だとエアコンを使用するのが前提のため、こまめに切った方がいいと思ってしまう可能性があります。

反対に事業所向けに記載のある「使用していない照明の消灯」という素直な文章が良いと思うのですがどのようにお考えですか。

[事務局] A

ありがとうございます。

ご指摘いただいた内容を踏まえ、修正の検討をさせていただきます。

[委 員] Q

若い人の代表が中学生というのは、どのような検討の結果、中学生になったのでしょうか。

[事務局] A

中学 2 年生を対象とした理由は、中学校では温暖化についての授業が実施されているという現状から中学生を対象としました。また、3 年生は受験、1 年生ではまだ授業で習っていないという理由から 2 年生を選びました。

[委 員] Q

アンケートを配布する際、単純にアンケート用紙のみを配布するのでしょうか。それとも、温暖化に関するリーフレットなども付けて配布するのでしょうか。

本アンケートは温暖化について知らなかったら答えられないことがあるかと思います。そのため、愛知県が作っている温暖化に関するリーフレットのようなものがあると、市民の方も答えやすく勉強にもなるかと思います。WEB アンケートも同じように温暖化に関する資料にアクセスできるように設定すれば、答えやすいかと思います。

また、温暖化対策は緩和と適応という 2 つのテーマがあるにもかかわらず、適応の部分がアンケートから抜けています。したがって温暖化対策は我慢しなくてはいけないというニュアンスに

とれます。また、電気自動車や省エネなど、温暖化対策にはお金がかかると感じるようなアンケートになっているため、温暖化対策は得するといった内容にしてほしいです。

例えばエアコンの温度を 28 度にして T シャツを着ましょうなど、アイデアが浮かぶような言い方をしてほしいです。

また、中学生アンケートについて、学校生活のことを書くのか、私生活のことを書くのか曖昧になっています。学校生活なら食品ロスの問題などもありますので、食べ残しをしないなどの項目が必要だと思います。

[事務局] A

ありがとうございます。

アンケート内容につきましては再度検討させていただきたいと思ひますし、学校生活、私生活どちらの内容にするかも検討させて頂きたいと思ひます。

[委員] Q

省エネ機器の導入について、省エネ型や、高効率化と書いてある部分は、何をもっていうのでしょうか。一般の人にはわかりづらいので、わかりやすい表現の方で書いた方がいいと思ひます。

[事務局] A

ありがとうございます。

省エネ化につきましても、もう少しわかりやすい表現にしたいと思ひますので、検討を進めてまいります。

[委員] Q

計画の策定について、3 回の審議会を経てその後作っていく予定とありますが、いつまでに策定予定なのでしょう。また、基本方針の中に 2050 年までのゼロカーボンの達成に寄与すると書かれてありますが、2050 年までに時代の変化もあるかと思ひます。いつまでこの計画を使う予定なのでしょう。

[事務局] A

区域施策編につきましては、今年度中、3 月 31 日までに策定をさせていただきます。また、最終目標年度である 2050 年はまだ先ですので、区域施策編ではまず、2030 年度の温室効果ガスを 2013 年度比で 46%削減するという目標の下、短・中期的に展開していく具体的な施策を検討するかたちになります。

[委員] Q

市民アンケートについて「稲沢市の居住年数と居住地域」を属性としてお聞きしている項目がありますが、この項目を入れた意味はあるのでしょうか。

居住地域によって温暖化に対する意向が違って見えるという想定があるのでしょうか。

[事務局] A

居住地域につきましては、仮説として持っているわけではなく、実際に違いが表れるかを調査・

確認したいという思いから入れています。

[委員] Q

こちらのロードマップと、稲沢市地域再エネ導入戦略を実施していくというのは、非常にエネルギーのいることだと思います。計画を策定し、推進していくためには市全体で協力していく必要があると思うのですが、庁内の体制作りに関してどのようにお考えでしょうか。

[事務局] A

庁内においても我々環境部局以外の職員は環境への意識が低いというのが現実です。まずは職員の教育などからはじめ、小規模でも昨年行ったフォーラムのようなイベントで市民、事業所に対する啓発、周知をしていきたいと考えています。

区域施策編は短・中期的な計画で2030年度の中期目標に向けてまとめているのですが、2050年までの長期にわたっては、これまで策定した計画なども合わせて見直していく必要があると考えています。

[委員] Q

事業者と市民アンケートの8ページに「地球温暖化防止に役立つから」という項目がありますが、曖昧な表現の為、具体的な言葉にしたほうがいいと思います。

また、生ごみ対策に関する市の補助金について記載することで、取組む事業者の増加につながるかと思います。

また、本アンケートにキーワードとしてサーキュラーエコノミーやバイオプラスチックなどのワードを入れることで、重要なワードだと印象づけることができるかと考えます。

さらに、本アンケートは、全体的に稲沢市の特徴がなく、一般的で横並びのアンケートであると感じます。いちょうやホテル、水田など稲沢らしいアンケート項目があると、市民としては嬉しいかと思います。他市町村と結果を比べにくいというデメリットもあるかと思いますが、市の特徴を出したアンケートとしてほしいと思います。

[委員] Q

事業者アンケートについて、担当者、会社名、住所、電話番号などの属性を書く欄がありますが、これは意味があるのでしょうか。

[事務局] A

事業者の連絡先については、もし目立つようなお答えや参考すべき取組をお書き頂いた場合、ヒアリング実施等の追調査を検討しているため、設問として記載して頂いております。

[委員] Q

調査の1,500名と200社という規模は、これだけの数アンケート調査を実施すれば、全体の情報を網羅できるということで設定されているのでしょうか。もしくは予算の関係による件数ということなのでしょうか。

[事務局] A

数につきましては他市の状況なども踏まえ、この数が妥当であると判断しています。

[委員] Q

他市というのは稲沢市と規模が似たような市ということでしょうか。

[事務局] A

はい、その通りです。

[委員] Q

一番最後の項目「稲沢市に期待すること」について、市民向け、事業者向けの文章が少し長く、頑張らないと読み解けないという気がしました。中学生向けのものはすごくシンプルなためすぐに理解ができます。中学生向けに倣ってもう少し柔らかく伝えるといいと思います。

最後の項目なので、ここまで答えて頂ければ途中でやめることはないとは思いますが、この項目を分かりやすくすることで、最後までしっかりとお答えいただけるのではないかと考えます。

[会長]

本日の議題、以上で終了となります。委員の皆様ご協力ありがとうございます。

それでは進行を事務局にお返ししたいと思いますのでよろしく願いいたします。

[事務局]

成田会長、ありがとうございました。

最後に、その他として事務局から御連絡いたします。今年度の審議会は、3回の開催を考えておりまして、次回の開催は10月頃を予定しています。日時等が決まりましたら、あらためて御案内いたしますので、よろしくお願いいたします。

本日は、長時間にわたる慎重審議、誠にありがとうございました。これを持ちまして、本日の会議を閉じさせていただきます。お帰りの際は、交通事故等に十分気をつけてお帰りください。